



本物のクリエイターを目指す男の創造力と狂気が交錯!

『イージー★ライダー』神話に終止符を打つため
映画作家デニス・ホッパーがデニス・ホッパー本人を演じる
奇妙で滑稽で前代未聞の創造的異色ドキュメンタリー

『イージー★ライダー』でカンヌ映画祭新人監督賞、ハリウッド・システムをぶち壊したアメリカン・ニューシネマの旗手として一躍世界中の若者&マスコミの注目を集めたデニス・ホッパーは、監督第2作として「映画とは何か」を鋭く問ひかける問題作「ラストムービー」に取りかかった。ピーター・フォンダ、トーマス・ミリアン、ミシェル・フィリップス、サミュエル・フラーなど豪華出演陣を起用してベルーの山村で撮影したフィルムをニューメキシコ州のD・H・ロレンスの元別荘に持ち込んだホッパーは、1年以上かけて編集作業に没頭する。そこへドキュメンタリー映画を撮りたいと現れたのがローレンス・シラー(フォトジャーナリストとしてユージン・スミス「ミナマタ」の出版に携わり「明日に向かって撃て」のスチール写真モニター・ジュも担当)とL・M・キット・カーソン(ゴダールの「勝手にしやがれ」のリメイク「プレスレス」や「バリ、テキサス」の脚本家)だった。シラーとカーソンを迎えたデニス・ホッパーは、“ドキュメンタリー映画”を作ること拒否、代わりに“「ラストムービー」を作っているデニス・ホッパーを、デニス・ホッパー自身が演じる映画”を提案する。かくして、チャールズ・マンソンのような長髪&髭スタイルのデニス・ホッパーが、砂漠で哲学を語り、編集作業に悩み議論し、カメラの前でマリファナたばこを巻き、ライフルや拳銃を撃ちまくり、バスタブで3Pを繰り広げ、住宅街を全裸で闊歩する……。こんな破天荒な映画ドキュメンタリーがかつてあったらどうか。そこに描かれているのは、果たして本当のデニス・ホッパーなのか、演じられている虚飾のデニス・ホッパーなのか……“真実のデニス・ホッパー”はどこにいる?

【音楽】——ビーチボーイズを見出した音楽プロデューサー、ニック・ヴェネットが監修。元バーズのシーン・クラーク、クリス・クリストファーソンと共に「ラストムービー」にも参加したジョン・バック・ウィルキンらが参加。ポスターが付録になったサントラ盤LPは音楽マニア垂涎のコレクターズアイテム。

The American Dreamer | 1971年 | アメリカ映画 | 81分 | 監督:ローレンス・シラー、L・M・キット・カーソン | 製作:ローレンス・シラー | 脚本:ローレンス・シラー、L・M・キット・カーソン、デニス・ホッパー | 撮影:チャック・レヴィ、ローレンス・シラー | 配役:デニス・ホッパー(アメリカンドリーマー) | 配給:アダソン・ア、ブロードウェイ | 宣伝:岩井秀世 | デザイン:渡辺純

「イージー★ライダー」は如何にしてハリウッド・システムを粉砕しアメリカン・ニューシネマの幕を開いたか?
『イージー★ライダー』敗け犬たちの反逆 谷川建司・著「イージー★ライダー」伝説増補改訂版
〜ハリウッドをぶち壊したピーター・フォンダとデニス・ホッパー〜 怪書房刊 1月下旬刊行予定

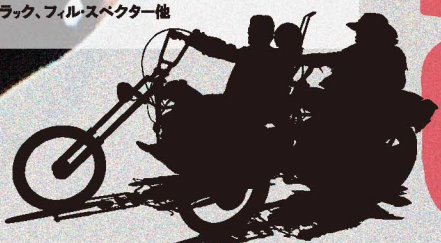


映画監督デニス・ホッパーの誕生そして歴史が変わった

ホッパー、フォンダ、ニコルソン——若き才能の結集がスパークする
アメリカン・ニューシネマの黎明を飾る傑作

デニス・ホッパー監督・脚本・主演、ピーター・フォンダ製作・脚本・主演によるアメリカン・ニューシネマを代表する作品。自由と平和を求めてハーレー・ダヴィッドソンでアメリカ横断の旅に出た若者たちが、アメリカ南部の偏見・恐怖・憎しみに直面する衝撃作で、1969年カンヌ映画祭で新人監督賞を受賞、翌年のアカデミー賞では助演男優賞(ジャック・ニコルソン)と脚本賞にノミネートされた。アメリカのみならず世界的に大ヒットし、製作費35万ドルの実に200倍の収益を稼ぎ出す。出資したのは人気ロック・グループ「モンキーズ」のテレビや映画で儲けていたバート・シュナイダーで、インディペンデント映画をハリウッド・メジャーが配給して成功した最初の例となり、以後のハリウッドの映画製作システムを変えたとされる。また、ステッペンウルフの「ワイルドで行こう」はじめ、ザ・バーズ、ザ・バンド、ジミ・ヘンドリックスなど既成のロック音楽をサントラに採用したことも画期的だった。主題歌「イージー★ライダーのバラード」は映画に感動したボブ・ディランが書き下ろした歌詞をもとにザ・バーズのロジャー・マッギンが仕上げて歌ったもの。『荒野の決闘』、『ウエスタン』などの名優ヘンリー・フォンダの息子であるピーター・フォンダは、ロジャー・コマンの低予算バイカー映画「ワイルド・エンジェル」(66)がヒットして若手スターの仲間入りをしていた。一方、ハリウッドのメジャー映画会社から追放されていたデニス・ホッパーは同じくコマン監督、フォンダ主演の『白昼の幻想』(67)でLSDによるトリップ場面を演出してピーターと意気投合。ヒッピーの2人組がバイクでアメリカを横断する映画を企画したピーターはデニスを監督に指名、ふたりで脚本を練り上げた。題名を命名したのは「博士の異常な愛情」(64)、『キャンディ』(68)などで当時最先端の脚本家だったテリー・サザーン。当初2人組は「キャプテン・アメリカとバッキー」というコミック・キャラクターからとられていたが、出版元マーベル・コミックの使用許可が下りず、「ワイアット(・アープ)とビリー(・ザ・キッド)」なる西部劇ヒーローの名となった。1998年にはアメリカ国立フィルム登録簿に永久保存登録されている

EASY RIDER | 1969年 | アメリカ映画 | 94分 | 監督:デニス・ホッパー | 製作:ピーター・フォンダ
脚本:デニス・ホッパー、ピーター・フォンダ、テリー・サザーン | 撮影:ラスロ・コヴァックス | 編集:ドン・キャンバーン
美術:ジュレミー・ケイ | 音楽:ステッペンウルフ、ザ・バンド、バーズ、ザ・ジミ・ヘンドリックス・エクスペリエンス他
製作:バンド・カンパニー、レイバード・プロ
出演:ピーター・フォンダ、デニス・ホッパー、ジャック・ニコルソン、カレン・ブラック、フィル・スペクター他
© Sony Pictures Entertainment Japan Inc.



2020年2月1日(土)より

『アメリカン・ドリーマー』+『イージー・ライダー』同時公開

●2/1(土)〜21(日)	15:10 『イージー★ライダー』 17:10 『アメリカンドリーマー』 18:30 『イージー★ライダー』 20:30 『アメリカンドリーマー』	●2/22(土)〜28(日)	19:00 『イージー★ライダー』 21:00 『アメリカンドリーマー』
---------------	--	----------------	---

特別鑑賞券1400円発売中
※特別鑑賞券は「アメリカンドリーマー」のみにご利用いただけます
※劇場窓口にてお買い求めの方に限定ポストカードプレゼント!!
当日:「アメリカンドリーマー」一般1800円/学生1400円/会員・シニア1200円
「イージー★ライダー」一般1500円/学生・会員・シニア1200円

ユースペース

EUROSPACE

渋谷区円山町1-5 | 渋谷・文化村前交差点左折
☎03-3461-0211 | www.eurospace.co.jp

東急本店 Bunkamura
渋谷駅
文化村通り
ユースペース
ON AIR
セブンイレブン
丸の内線
有明駅
至 有明
至 渋谷
至 新橋
至 原宿

デニス・ホッパーの地獄の傑作

「ラストムービー」(1971)と
「デニス・ホッパー/狂気の旅路」
12.20より新宿シネマカリテ他で公開